

Osaka Metro まちさんぽ

四つ橋線 岸里駅

阿倍氏のふるさと阿倍野を横断

岸里駅
90分
コース



上町台地を上って聖天山へ、
陰陽師・安倍晴明の生誕地へ

岸里は、古代は海辺のまち。上町台地の斜面をゆっくり上ると、小高い山に聖天さん。四方に広がる大地は阿倍野。古代豪族・阿倍氏(平安朝以降は安倍氏)のふるさとで、唐の高官になった阿倍仲麻呂や陰陽師・安倍晴明のゆかりの地です。



スタート駅	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	ゴール駅
岸里駅 四つ橋線 ②号出口	岸里	上町台地の崖	正圓寺(聖天さん)	吉田兼好遺跡	伊東静雄文学碑	松虫塚	安倍晴明神社	もと熊野街道 阿倍王子神社・碑	経塚	伝北畠顕家の墓	昭和町駅 御堂筋線

古代、生駒山麓まで広がる大阪湾の海に、南から突き出た半島が上町台地。その半ばあたりに海に面した人里がありました。そこが岸里。見上げると海照山正圓寺がそびえています。阿倍野を歩いて、古代説話や陰陽師・安倍晴明の生誕の秘密もたずねます。

新型コロナウイルス 感染拡大防止のために
 ●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
 ●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお楽しみください。

上町台地を上って聖天山へ、陰陽師・安倍晴明の生誕地へ

岸里は、古代は海辺のまち。上町台地の斜面をゆっくり上ると、小高い山上に聖天山。四方に広がる大地は安倍野。古代豪族・安倍氏(平安朝以降は安倍氏)のふるさとで、唐の高官になった安倍仲麻呂や陰陽師・安倍晴明のゆかりの地です。

スタート駅

約 90 分

ゴール駅

四つ橋線岸里駅②号出口

御堂筋線昭和町駅

1 岸里

名前の由来は、大坂湾に面した海辺の集落だったという説と、この地に居住していた古代の渡来系氏族・難波吉士の名前からついたという説があります。中世以降は紀州街道沿いの農村集落となり、勝間新家、のちには天下茶屋と呼ばれていました。

2 上町台地の崖

上町台地の西側には大坂湾の海流が浸食してきた海食崖が何か所も見られます。このあたりも顕著な崖を形成しています。上町台地の崖の西側は、江戸時代に浅瀬を埋め立てて多くの新田が造成されました。

3 正圓寺(聖天山)

聖天山は標高14mの低山ですが、そもそもは古墳で、山上から大阪湾を遠望できます。元禄年間に、古代安倍氏の氏



寺であった安倍寺の一坊が移築されて海照山正圓寺となりました。「天下茶屋の聖天山さん」と呼ばれ、桜見物で賑わいます。

4 吉田兼好遺跡

『徒然草』で有名な吉田兼好は、親愛していた南朝の武将・北畠顕家が安倍野の戦いで北朝軍に敗れると、顕家討死の場所近くに庵を構えて藁を打ち、蓑を織って生計を立て、読経三昧に菩提を弔いました。正圓寺参道下に「兼好法師隠棲跡碑」と「兼好法師藁打ち石」があります。



5 伊東静雄文学碑



詩人・伊東静雄は、京都大学を卒業後、旧住吉中学校に国語教師として赴任しました。以後20数年、大阪や堺で詩作活動を続けます。「こころの歌」の詩人として情感あふれる詩をつくりました。このあたりを好んで散策したようです。

6 松虫塚



このあたりの原野は松虫(鈴虫のこ)の鳴き声美しく、名所として知られていました。古書『芦分船』には、後鳥羽上皇が寵愛した白拍子の松虫、鈴虫姉妹が隠れ住んだという伝説が残されています。謡曲『松虫』は、「虫の音に魅せられた友人が草むらに入ったまま戻らないので探しに行く」という悲しい話です。道路拡張で撤去されそうになったとき、住民の保存運動で樹齢800年の榎も残りました。

7 安倍晴明神社

平安時代に陰陽師として名を残した安倍晴明の生誕伝承地で、その死を悼んだ花山天皇の命により創建されたと伝えられています。母は信太の森(和泉市)の白狐とする葛之葉伝説が残されています。



8 安倍王子神社・もと熊野街道碑



安倍一族の氏神社で、一説には仁徳天皇の創建と伝えられています。熊野信仰が盛んになった平安時代には、熊野大社の末社である九十九王子の第四王子社にもなりました。大阪府内に現存する唯一の王子社です。境内に熊野大社の神遣いである八咫鳥の銅像があります。西側の「もと熊野街道碑」のある道はかつての面影を残す静かな道です。

9 経塚



経塚は、聖徳太子が諸経の文字を一字ずつひとつの石に書いて納めたとする説と、空海が疫病流行に際し、王子神社に入り1000部の薬師経を書写してこの塚に納めたとする説があります。所在地は何度か移転し、現在は晴明丘公園にあります。

10 伝北畠顕家の墓

北畠顕家は南北朝時代に南朝の後醍醐天皇に仕えた武将です。『太平記』は「5月22日、和泉の境、安部野にて討ち死にし給ひければ、相従ふ兵悉く腹切り疵を被って一人不残失せにけり」として、20余騎の手勢で足利尊氏の大軍と戦い、弱冠21歳で戦死したと伝えられています。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2020年6月時点のものです。内容は変更されている場合がありますのでご了承ください。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室前に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

